

2012 年度助成活動最終報告書

企画名：『ネオニコチノイドはミツバチだけの問題じゃない』

団体・個人名：子どものアレルギーから食と環境を考える NPO みれっと

1. 報告要旨

子育て中の親たちにはミツバチの大量死問題は関心を持ってもらえないテーマです。ネオニコチノイド系農薬が、ミツバチだけの問題ではなく敏感な小さな子どもたちに直接影響があることを知ってもらう企画でした。食品や家庭用品などを通じネオニコチノイド系農薬に日常的に暴露にさらされることがあることに気づき、まずは我が子を守るため身の回りから排除してほしいという思いから実施しました。伝えるツールは『子どもの脳を守って！大人が知らないとコワイこと』（成果物）というリーフレットです。ネオニコチノイドが子どもに与える影響について、わかりやすくまとめました。

2. 設定目標の達成状況

具体的にめざす目標・成果は達成できたか（申請書 2 の e）：

ネオニコチノイド系農薬について、何も知らない、全く興味のない子育て中の特に母親たちに、田中優さんのわかりやすい講演や、ドキュメンタリー映画「ミツバチからのメッセージ」「ニコチンビー」「赤とんぼのいない秋」の上映会を通じて自分の子どもに影響があるかもしれないことを伝えることが出来ました。また、口コミのツールとして『子どもの脳を守って！大人が知らないとコワイこと』というリーフレットを作成して、自分ごととしてお母さんたちの話題にのぼるきっかけを作りました。

目標達成度のめやすをどこまでクリアしたか（申請書 2 の i）：

「ミツバチからのメッセージ」や「ニコチンビー」は子育て中の母親たちに関心を持ってもらえるテーマではありませんでした。ほかの講座とは違い人が集まらないのです。しかし、上映会に来てくださった人たちは、空中散布が、自分の故郷や友人の嫁ぎ先で実施されていることを知って「ミツバチからのメッセージ」の DVD をプレゼントしたり、安全な農産物を買うために加入した生協に、浸透性農薬の使用の有無を問い合わせるなど、知って行動に移す会員が増えました。参加していただける方は少ないながら、各地での上映会に参加して方はネオニコチノイド系農薬問題を真剣にかんがえるようになってくれました。参加者の中から twitter, facebook での告知の協力を申し出てくださる方が現れました。

上記のめやすに即して計った企画完了時の目標達成度をパーセントで自己評価すると：

80%

3. 実施状況

8月	28日 第1回 会議 全体の流れの検討 学習会講師の選定とそれに至るまでの折衝 アンケート調査の内容検討
9月	4日 第2回 会議 講演会の企画会議 18日 第3回 会議 アンケート実施内容の検討 25日 第4回 会議 プロジェクトデザイン 角田和彦先生へのアンケート監修依頼
10月	9日 第5回 会議 23日 第6回 会議 23日 「ミツバチからのメッセージ」上映会 参加者 5人 (みれっと事務所) 30日 学習会開催 田中優さんによる 「子どもたちの未来のために知っておきたいネオニコチノイド系農薬のこと」 場所：さいたま市中央区下落合コミュニティセンター 参加者17人 スタッフ5人 写真撮影、ビデオ撮影+DVD作成
11月	11月6日 第7回 会議 田中優さんのビデオから[講演会 DVD]の作成 アンケートのレイアウト編集作業及び印刷 5日「ミツバチからのメッセージ」上映会 参加者 16人 鶴ヶ島生活クラブめぞん 6日「ニコチンビー」上映会 参加者3人 みれっと事務所 7日「田中優さんの講座 DVD」上映会 参加者 4人 みれっと事務所 14日「田中優さんの講座 DVD」上映会 参加者 7人 東大宮コミュニティセンター
12月	かくたこども&アレルギークリニック院長角田和彦先生による「ネオニコチノイド農薬への提言」と環境に敏感な人たちが感じている『農薬との関係が疑われるエピソード』のアンケート調査の作成。 12月26日ニコチンビー上映会 参加者 4人 みれっと事務所
2013年 1月	1月15日 第8回 会議 1月22日 第9回 会議 1月29日 第10回 会議 1月11日 「ミツバチからのメッセージ」「ニコチン・ビー」浦和上映会 参加者12人 1月25日 「田中優さんの講演 DVD 上映会」浦和上映会 参加者 8人
2月	2月5日 第11回 会議 2月12日 第12回 会議 2月19日 第13回 会議 2月26日 第14回 会議

3月	3月3日	「ミツバチからのメッセージ」「ニコチン・ビー」川口上映会 参加者15人
	3月5日	第15回 会議
	3月25日	リーフレット『子どもの脳を守って！大人が知らないとコワイこと』
		2000部発行、各方面に配布、口コミツールとして普及を図っている。

4. 成果物

1.	角田和彦医師による「ネオニコチノイド農薬への提言」とアンケート
2.	リーフレット『子どもの脳を守って！大人が知らないとコワイこと』2000部作成
3.	「ミツバチからのメッセージ」解説書
4.	「ニコチン・ビー」解説書

5. 実施による学び

※企画実施を完了してみて、申請書に記載した計画との相違点が生じたら記載してください。とりわけ、申請時に見通した企画の弱点や障害（申請書2のh）を乗り越えることができたか、あるいはそれらが計画との相違につながったかに着目し、中間報告の内容も踏まえた上で、さらに今後の活動に活かせる学びがあれば記述をお願いします。

特に子育て中の保護者に知ってほしい、伝えたいと実施をしましたが、「ミツバチに興味がない」「農薬問題は難しい」という思い込みから参加者が少なく、他のテーマ以上に参加者を募ることに苦労しました。子どもにどのような影響が出るのか、具体的な例などを、もっと提示する必用があったと思いました。

上映会に参加したくても、当日子どもの具合が良くなかったり、幼稚園や兄弟の学校行事と重なったりして断念した方がいたのが残念でした。一度の機会ではなく、日常的にあちこちで上映会を出来たらよかったですと思いますが、半年間ではなかなか難しかったです。代表の家族の病気のため継続することが出来なかったのが残念です。

6. ハイライト

※企画を実施してみて、一番印象に残ったこと、最も心を動かされたことがあれば記述してください。

その1 報告会後の懇親会で「あなたたちはまさに草の根の活動をしているわね」といわれた事です。対象の大きさに無力感に襲われる事が多いですが、小さいながらできることがある、小さいからこそその視点でできる事もあるんだと感じました。

その2 自分の故郷の実家の近所の方々の体調不良の様子が、DVDで紹介されている通りだと知った会員がDVDをプレゼントしたことです。

その3 子どもの体調不良が上田の事例と同じだと気づいた会員が、現在の居住地（北陸）で上映会を企画してくれるとのこと。現在仲間を募っているそうです。

7. 支援

実施者への人件費が認められている点が、本当に助かりました。

行政の助成金とは違い本当に意味のある活動の資金を提供してくださる助成団体は希少です。

今後も更なる発展をお祈りしています。